

---

**ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 響け!三つの明日!!**

R x P

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ウルトラマンゼロ！仮面ライダーオーズ&アギト！スイートプリキュア 響け！三つの明日！！

### 【Nコード】

N9265Z

### 【作者名】

R x P

### 【あらすじ】

渡たちが帰ってから数ヶ月がたち狼たちはそれぞれ新しい学年になった。

そして空間を使ってポセイドンドライバーとそのメダルを盗んだ男を追って映司たちが加音町にやってきた！！

明日の未来を賭けた新たな戦いが巻き起こる！！

第1話！！ 新たな出会いとアウノウンの出現！！オースリターンズ！！（前書

予定より早く第一話が書きあがり早めに連載しまゝス！！

新たな戦いの幕開け！楽しんでください！！

## 第1話！！ 新たな出会いとアウノウンの出現！！オースリターンス！！

ここは加音町…あの激闘から数ヶ月がたち春に変わって響達は中学三年生になり、アコは四年生になっていた。

狼「ふああああ…いい天気だな…！！」

校内の原っぱで大の字に伸びてのんびりしている少年がいる。

彼の名は犬上<sup>いぬがみろう</sup>狼<sup>ろう</sup>と言い また彼はこの世界を救った英雄の一人ウルトラマンゼロであり仮面ライダーアギトである！！

また彼はあの戦いが終わった後：異次元の世界である 「仮面ライダー&プリキュア 戦う戦士たち」の世界を旅して三日前に帰ってきたのだが…こちらの世界では旅立ってから丸一日しか立っていなかった。

そこにあの戦いが終わった後告白して以降付き合ってる俺の彼女のエレンがやって来た。

エレン「あーいた〜！！狼くんもうすぐ授業始まるよ？」

笑顔で言うエレン。くう〜！！かわいいな〜！！！！

狼「お！マジ！じゃあ行きますか！！」

狼はニヤニヤして起き上がりエレンと手を繋いで一緒に教室に向かった。

同じ時刻…浜辺

【バチバチバチ】

突然浜辺の上空に空間が広がり三枚のコアメダルを丸いベルトポセイドンドライバーを装備した金髪でピアスをした男が現れたのだ。

その男は浜辺に降り立ち

？「フフフ！！やつと…俺は！！俺は！！また戦えるぜええええ！！

！！！！ハハハハハハハハ！！！！！！」

不気味に笑うと

？「さてまずは……この町のことを調べるか……あゝ腹減った……！」

そう言うとも男は去って行った。

### 同時刻の広場

三台のバイクでライドベンダーと言うマシンに乗った男達が丁度この町に到着し男3人がヘルメットを外す。

後藤「この何所かに……アイツが現れるはずなんだが……って火野！  
！伊達さん……！」

この男は後藤 慎太郎といい元鴻上ファウンデーション所属のライドベンダー隊第1小隊長であり里中エリカの元秘書補佐である。現在は刑事に復職しているが今回は特別任務の為バースの装着者に復帰し今回の任務を引き受けたのだ。

映司「おおお……！凄……い……！大きな時計塔だ……！！！」

時計塔を見てはしゃいでいる男は火野 映司といい仮面ライダーオーズとしてグリードと戦い現在は鴻上ファウンデーションに研究協力員として所属し、割れてしまったアंकのコアメダルを元に戻す手掛かりを求めている。

また彼はフォーゼと共闘したあの戦いの後再びコアメダルを取り戻したオーズに変身が出来るようになったのである。

伊達「すっげ〜な……！こんな時計塔海外以外で初めて見たぜ……！よし……！火野……！後藤ちゃん……！記念写真撮ろっぜ……！」

そう言うってカメラを何所からも無く取り出した男は伊達 明と言う医師で、かつては世界各国で活動を行う医療チームに所属し「戦う医者」の異名を取っており初代バースでもある。またかなりの面倒くさがり屋でバースも実戦で使い方を覚えた程である。

後藤は呆れながら

後藤「俺たちは観光に着たんじゃ有りません！！アイツを追って来たんですよ！！それにコレは鴻上会長の命令なんですから まったく……」

そう彼らは先ほどの男を追って来たのだ。

映司「わかってますよ さて冗談はコレ位にして…早くポセイドンのメダルを使ったその人探さないと……！！」

映司は笑いながらも真面目な顔で言う

後藤「取りあえず全員バラバラで搜索しましょう。その方が早く搜索できますし……」

伊達と映司は頷き再びエンジンを駆けてバラバラに行動を開始し始めた。

一方の俺たちは学校が丁度昼休みで弁当を食べ終えあの戦いの終わった後に入手したティラノザウルスが描かれた紫のメダルを取り出してしげしげと眺めていた。

エレン「結局そのメダルってなんなのかな？」

エレンは不思議な物を見つめる目でメダルを見る

響「うーん！！もしかしてスッゴイお宝だったりして？」 目がキラキラ

奏「それにしても…なんで恐竜なんて描かれているのかしら？」

彼女は少し困惑した表情で言う。

狼「まあ！考えたって仕方ねえぜ！！それよりこの後放課後…うん！！！！！！」

突然頭に見た事無い怪人のイメージが出てきた。俺がアギトの力を入手時には無かったが最近敵を感知できるようになったのだ！！

エレン「狼くん？」

心配そうに聞くエレン

狼「敵だ……」

狼がつぶやきみんながえつとなる

狼「見た事無い怪人が町の建物の間に現れた！！行くぞ！！」

そう言つて俺は走る！！

響「え！！ちよつと！！まつてよ！！！！」

3人は狼を追いかける。

一方建物の間の道ではジャガーみたいな怪人が親子を襲う数前だった男性「うわああああ！！！！助けてくれ！！！！」

子ども「パパゝ怖いよゝうわゝん！！」

2人が固まつてしまつて動けない！！だがその時！！

？「やめろゝ！！！！！！」

一台のバイクが体当たりをして怪人を吹き飛ばす！！その人物はすぐにヘルメットを外してバイクからおりた！！それは…火野映司だった！！

映司「早く逃げてください！！コイツは俺が引きつけます！！」

男性「たつたすかつたゝ！！ありがとう！！」

親子が頷いてあわてて逃げる。

？「貴様…欲も邪魔を…！！！！」

怪人が立ち上がりなんと喋つたのだ！！

映司「喋れるのか！！何故人を襲つたんだ！！」

映司は驚きながらも怒りで叫んで聞く

怪人「我が主の命令でアギトの力の持つ者を抹殺…それが俺の命令だ…」

不気味に静かに言う怪人

コレを聞いた映司？

映司「【アギトの力？なんの事だ？】命令で人の命を狙うなんて…そんな事させない！！」

映司はオーズドライバーを取り出して腰にあてオーカテドラルが装着される。

そして大切な仲間の一人…泉 比奈からもらったメダルホルダーから赤黄緑のカラフルなメダル…コアメダルを取り出す。

怪人「うん？」

映司「助けられる人が目の前にいたら俺は必ず助ける！！あの時から…後悔しないように…」

ドライバーにタカコアを右の穴にバツタコアを左の穴入れ…

映司「決めたんだ！！」

最後のトラコアを真ん中にいれてオーカテドラルを斜めに傾けオー  
スキャナーを取り外し変身ポーズを決めながら一気にスキャンする  
！！

映司「変身！！」

【タカ・トラ・バツタ！タ・ト・バ！タトバ！タ・ト・バ】

不思議な歌が流れメダル状の塊の中のタカ・トラ・バツタの三つの  
動物が頭体下半身で止まり合体してリングになり真ん中で紋章を…  
胸部に円形のプレート・オーリングサークルを作り一気に変身が完  
了する！！

その姿は全身が黒く頭が赤目が緑 体が黄 下半身が緑だった。そ  
してオーリングサークルの周りが金になっていた。

そう！！彼は仮面ライダーオーズの基本形態 タトバコンボに変身  
したのだ！！

怪人「む！！貴様もアギトの力を？」

怪人が驚きながら聞いてくるがオーズが首を振り答える

オーズ「俺はアギトじゃない！！オーズ！！仮面ライダーオーズさ  
！！行くぞ！！」



メダジャリバーを取り出して走りだす！！  
オーズ「おおおおおお！！！！！！！！」

ジャガー「オーズだと…誰かは知らんが…邪魔者は倒させてもらう  
！！」

ジャガーの怪人は剣を空中から取り出し同じく走りだして互いに斬  
り合い始める！！

オーズ「ハ！！う！！たあああ！！！！」

怪人「う！！！！フン！！！！」

互いに一步も譲らず戦ったが…力はほとんど互角だった。  
そして互いに周りながら…

怪人「オーズ…なかなかやるな…」

怪人がつぶやく

オーズ「そっちもね…お前は何者なんだ！！」

オーズが聞くと怪人は静かに答える。

怪人「名前は無い…呼びたければそうだな…人間が名づけたアウノ  
ウンとか言う名で呼べ…」

オーズ「アウノウン？…」

オーズが困惑して隙を見せてしまった！！

ジャガー「余所見をするな！！！！」

当然チャンスだったの剣で襲い掛かってきた

オーズ「うわ！！しまった！！く！！」

受け止めるオーズだったが足で蹴り飛ばされてしまった！！

オーズ「うわああ！！！！」

そしてオーズは壁に叩きつけられてしまう！！

オーズ「く！！このままじゃ！！こくなったら！！」

オーズは立ち上がって素早くメダルをサイとゴリラとゾウに変えてスキャンする！！

【サイ！ゴリラ！ゾウ！サゴーゾ！ボン　ボン　サゴーゾ！ボボン  
ー】

オーズ「ハ！！」

オーズが気合を入れると同時に太鼓のテンポのような歌と共にオーズは白と銀と黒の体と赤い目を持つ怪力と重力捜査に優れるコンボの一つ重量系コンボのサゴーゾにコンボチェンジする！！

オーズ「うおおおおおおおおおお！！！！！！！！！！」

オーズはその場でドラミングを始める！！

するとジャガーが驚き！！空中に浮き身動きが取れなくなる。

ジャガー「ぐああああ！！！！！！コレは！！！！」

オーズ「よし！！！！一気に決めるぞ！！！！」

オーズがドラミングをやめてジャガー落ちて来たタイミングでオーズ  
スキヤナーで再スキャンする！！

【スキヤニングチャージ！！】

オーズ「は！！！！」

オーズはその場で跳躍し、着地の衝撃と共に発生した波紋状の銀色の3つのオーリングで標的を地面に捕縛して！！！！！！

オーズ「せいやああああああ！！！！！！！！！！」

ジャガーを手元に引き寄せて頭突き・フックパンチを同時に叩き込

む。

ジャガー「ぐわああああ！！！！！」

【ドーン！！】

アウノウンはそのまま爆死して消え去った。

命中後、破壊された地面は修復されてオーズは？

オーズ「はあ！はあ！！だいぶコンボも疲れなくなってきたな……」  
今までの経験からだいぶオーズに慣れた為か変身が解除されなかった。

オーズ「さてと……伊達さん達と合流しないと……ぐわあああ！！！！！」  
いきなり後ろから同類のジャガーが襲い掛かってきたのだ！！  
オーズはまた吹き飛ばされ地面に倒れる。

オーズ「くそ！！後ろからなんて卑怯……つてえ……！！！！！」

なんと後から五体も出てきたのだ！！

ジャガー2「貴様！！よくも俺の兄を！！！！」

ジャガー3「許さん！！！」

ジャガー4「殺す！！！」

さすがのオーズもまいってしまった！！！！

オーズ「どうしよう……ガタキリバならいけるけど……ここだと狭いし……  
……一体どうすれば……うん？」

足音が近づいてくる！！

オーズ「もしかして……後藤さん？伊達さん？」

だが正体は四人の中学生と小学生一人だった！！そう！！それは狼と響たちだったのだ！！

ちなみにアコはこっそり抜け出して来たらしい……

オーズ「！！！！！！君たちは！！！！！！」

驚きオーズが叫ぶ

オーズ「ここは危険だ！！早く逃げて！！」  
だが狼が笑顔で答える

狼「大丈夫さ！！後は任せてくれよ！！え〜と？」

響もオーズを見て気がつき

響「もしかしてオーズ？」

とオーズに聞き彼は頷いて驚く

オーズ「どうして俺の事を？あれ？アウノウン達が？」

アウノウンたちは一斉に狼に振り向き驚き恐怖で怯えていた  
ジャガー「貴様は！！！！まさか！！！！そんな……」

狼「そのまさかさ！！みんな行くぞ！！！！よく分からない敵だけど  
……今はやるしかねえ！！」

エレン「ええ！！！！さていくわよ！！」

奏「オツケ」

狼が素早く腕を複雑に動かすと腰に光のベルト……オルタリングが出  
現し狼は右手をゆっくり前に突き出して……叫ぶ！！

狼「変身！！」

オルタリングの横のスイッチを押す！！

【ブウ〜ン！！！！】

突風のような音がして狼の体が黒……アーマーが金と銀と黒……最後に  
赤い目と金の角を持つ姿に変わる！！

狼は仮面ライダーアギトに変身したのだ！！

アギト「ハ！！」

決めポーズをするアギトを見たオーズは……

オーズ「変身した！？うそお！！」

つと驚く

そして響たちもキュアモジューレを取り出し

四人「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション」

メロディ「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

リズム「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

ビート「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

四人「届け、4人の組曲！スイートプリキュア！」

ポーズを華麗に決める4人！！

オーズ「え〜！！この子たちも変身したああ〜！？一体どうなってるの〜！？」

またしても驚いて腰を抜かすオーズ

そうこの瞬間から新しい戦いが…俺たちの新たな出会いが始まったんだ…

続く！！

**第1話！！ 新たな出会いとアウノウンの出現！！オースリターンズ！！（後書**

次回はライダーとプリキュアの共闘！！そしてゼロの登場です！！  
ではまた次回にで〜！！

登場人物 及び主人公 (前書き)

色々書き加えて下りますがあまり変わってないかな？

ではどうぞ！！

## 登場人物 及び主人公

犬上 狼ノ仮面ライダーアギトノウルトラマンゼロ  
いぬがみ ろう

年齢 15

演 宮野真守

1人呼は俺

本作オリジナルの主人公でスイートプリキュアのアリア学園中等部三年生。

前作で人々をアーク達から救った英雄の一人ウルトラマンゼロであり仮面ライダーアギトである。

かつては口が少々乱暴な言い方をするが、それはシャイな為であり本当は優しく素直に言えない為であった。

だが仲間と接する事で現在はゼロに変身する時だけ口調が乱暴になる位で普段は穏やかに話す。

また仲間を大事に思う気持ちが非常に強い

実は初対面であった時に黒川エレンに惚れていて…戦いが終わった後に告白して現在交際中であり恋人関係になった！！

好きになった理由は本人曰く「自分のタイプでとてもかわいい」と思ったかららしい…

【初対面で顔をすぐに背けたのは恥ずかしかったのもあるが一瞬で惚れた為】

前回の戦いでオルフェノクでは無くなったがゼロの光のお陰でファイズにも変身は可能。

年齢の割にはかなり大きく182.5センチもある【演じているマモちゃんと同じです】

得意なバトルスタイルはあらゆる格闘技や宇宙拳法を応用した技を使って戦う事と異次元の世界でスピリットエナジーを獲得した為それを活用してゼロの新たな力を使って戦う。



口癖が何故か「ったく！しょうがね〜な！」に変わった。

ふじみやかい

藤宮海ノウルトラマンアグルノ仮面ライダーディガンマ

年齢17歳

演 水島ヒロ

狼の幼なじみでアグルとディガンマに変身する高校生の少年  
現在は旅に出ている

プリキュア側

北条 響

原作同様、おつちよこちよい部分もあるが、正義感が強い少女  
今作ではアギトとオーズそしてゼロ共に共闘して行く！

南野 奏

原作同様、響の幼なじみ！

しっかりしていて、怒ると怖い！

また王子先輩卒業のショックで時々珍行動をする事も？

黒川 エレン

今作のヒロインで今作でプリキュアサイドの主人公

原作同様、セイレーンが人間の姿のままになっている。

前作で狼の告白を受けて…お付き合い件恋人同士になった。

お互いの呼び方は変わらないが戦闘でのコンビネーションがとても  
良い！！

実は本人も気がついてなかったがエレンも狼のカッコ良さとその諦  
めない精神の強さに惚れていたと前作での最終回で気がつき狼の告  
白を受け入れ自分も告白した。

現在は狼と一緒に行動もする事も

調辺 アコ

原作同様だが少々性格や初期の登場の仕方が違っている

メイジャーランドのお姫様で今作でも一人のプリキュアとして戦う

！！

本人曰くパパの親馬鹿加減にうんざりしてこちらに居候【家出中】

## 登場人物 及び主人公（後書き）

次はウルトラマンゼロの設定です。  
お楽しみに！

## ウルトラマンゼロの設定とスタイル（前書き）

本作オリジナルのタイプチェンジの設定です  
ではどうぞ！！

## ウルトラマンゼロの設定とスタイル

### ウルトラマンゼロ

前作の戦いの中で人々の想いと勇気そして仲間との絆でガイアの光が進化して誕生した。

能力や戦い方は原点と同じだが動き方や戦い方にも微妙に異なる部分もある

また活動時間には制限は無いがエネルギーを消費する光線技や強いダメージを受けるとタイマーがなる。

必殺技はゼロツインシュートやワイドゼロショットそしてゼロキックなど多彩ある。

### イーリス装備時はファイナルウルティメイトゼロ

また本作のゼロは地球から誕生している為原点とは異なりタイプチェンジが出来る。

変身する時はブレスを高く上げどのタイプになるかをイメージするがこのポーズを取らなくてもイメージがあれば変身可能である。

### ウルトラマンゼロ ゼロタイプ

いつもの姿で基本形態 全体のバランスに優れている。

### タイタンタイプ

全身が赤くなるパワー及びスタミナ形態。パワー重視のスタイルで力がとてつもなく強いがその分スピードがゼロタイプの半分しかない。見た目は青の部分が全て赤くなっていて両腕の筋肉が太くなっているのが特徴

必殺技は両腕を赤く燃やして放つゼロバーニングナックル!!

## スバロータイプ

全身が青くスピード及び超能力タイプ。スピード重視のスタイルでスピードが速くクロックアップやアクセルフォームと同等のスピードが出せる！！また超能力を使うのに適したスタイル  
その分パワーがゼロタイプの半分しかない。見た目は赤の部分が青くなっているのが特徴。

必殺技は水の力を光弾に変化させたハイドロゼロスプラッシュ！！  
技はアグルのフォトンスクリューと擬似している。

## 変身アイテム及び狼の所持品

### ウルティメイトブレスレット

狼がゼロに変身する最にウルトラゼロアイを呼び出すブレス  
自由に呼び出せる為普段は一般人には見えないように狼の腕の中に  
あり念じると出てくる。

### ウルトラゼロアイ

エスプレnderが変化して生まれたゴーグル型アイテム  
折りたたむ事で銃にも出来る。

### ネオバトルナイザー

大破したファイズフォン【通信機能は使用可能】の代わりに使っている携帯型通信アイテムで仲間になった怪獣を入れる装置  
現在はガンQ以外にもリドリアスが加わっている。

### ファイズギア

狼がかつてファイズに変身する最に使用していたライダーシステム  
現在とはある世界で完全に修復されさらに改良も加えられた為また  
使える用になったが現在彼はアギトの力がある為時々しか使わなく

な  
っ  
て  
い  
る。

## ウルトラマンゼロの設定とスタイル（後書き）

次回は来年に二話目を投稿します。  
ではまた！！



## 第2話！！ 赤きゼロと友情の赤いコンボと集団の緑のコンボ！！そして2人の

前回までの出来事！！

一つ！！謎の男を追って火野映司たちが加音町にやって来た！！

二つ！！その後バラバラに行動して謎の敵アウノウンが現れ交戦して勝つが他のアウノウンが現れピンチに！！

そして三つ！！

突然 そのピンチに中学生の少年と少女たちと小学生の女の子が助っ人に現れなんと全員変身したのだった！！

新年明けましておめでとございます！！これからもうよろしく願います！！

では本編スタート！！

## 第2話！！ 赤きゼロと友情の赤いコンボと集団の緑のコンボ！！そして2人の

俺たちはオーズが驚いて啞然としている前に移動して俺は軽く腕を回してから

アギト「さて！！行くか！！」

アギトは一気に敵に向かってダッシュする！！

ビート「いっくわよ！！」

同じく四人もダッシュしてそれぞれ一体ずつ相手をする！！

メロディ「はあああ！！！！」

強烈なパンチがジャガーの顔面にめり込み壁に吹き飛ばされる！！  
ジャガー「ぐはあ！！」

リズム「ええい！！」

リズムのジャンプキックが命中して大きくジャガーが吹き飛ばされ  
メロディが吹き飛ばしたジャガーのいる場所に吹き飛ばす！！

ジャガー「ぐえええええ！！！！」

ミューズ「えい！！」

両足のキックで3体目も蹴り飛ばして同じ個所に！！

ジャガー「いてえええええ！！！！！！」

アギト「行くぞビート！！はああああ！！！！！！」

ビート「ええ！！はあああああ！！！！

最後にアギトとビートの気合の入ったパンチが炸裂し最後の2体も  
同じ個所に吹っ飛ばす！！

2人「ダブルラブパンチ！！」

2人の愛のパワー炸裂パンチが見事に決まる！！

二体「愛のパンチは強烈〜!!!!!!」

そして全員積み重なってしまった！！

オーズ「凄い！！君たちは一体……」

啞然となるオーズにアギトたちが答える

アギト「光の仮面ライダー!!! アギトさ!!!」

「私達は伝説の戦士！！プリキュアなの」

オズ「???」って2人ともなんかやけにお互いのコンビネーション良いよね?」

それを聞いた二人は赤くなって！！

「アギト！！！！！！！！いっ  
ついやゝそんな事！！」

「ビート……!!!ぐ!偶然です!!!」

必死に否定する2人だったが

オーズ「いやさっきラブパンチって…」

鋭くに突っ込むオーズ！！

するとメロディが強引に間に入ってきて

メモディ「話は後よ！！早くトドメをささないと！！！」

リズム「逃げちゃうわ!」

敵もようやく立ち上がったようだ…そしてアウノウン達も呆然と見  
ていた。

アギト「ゴホン……じゃあトドメ行きますか……！」

オーズ「わかった！！俺も協力するよ！！」

オーズはそう言って立ち上がり赤いメダルを三枚取り出してドライ

バーにクジャクとコンドルを先に入れてタカコアを見つめ  
オーズ「アंक…一緒に戦ってくれ!!」

タカコアを最後にはめ込みオースキャナーを外して一気にスキャン  
する!!

【タカ!クジャク!コンドル!! ピー!!!タ〜ジャ〜ドル〜  
!!!】

オーズ「はああ!!!」

頭のヘッドがいつものタカヘッドではなくタカブレイブに変化し全  
身がまるで赤い鳥を思わせる姿に変わり左腕にはタジャスピナーと  
言う手甲型エネルギー解放器が装備されていた。

そしてオーラングサークルがタトバと同じ金で紋章が一枚の不死鳥  
を思わせるデザインになりオーズは鳥系コンボのタジャドルコンボ  
に変身したのだ。

オーズが変身完了するとクジャクウイングを広げ炎が舞い上がる!!

コレを見たメロディは驚いて?

メロディ「綺麗…」

リズム「なんか…不死鳥みたい…」

オーズ「えっ?綺麗…??」

ミューズ「いいから行くわよ!!」

改めて全員必殺技の体制に入る。

まずはアギトがアギトホーンを展開し足元に巨大アギトマークが出  
現した後両足に吸収される!!

アギト「ハアアアア〜!!」

飛び上がってそのまま急加速で必殺キックの体制に入る!!

アギト「ライダアアアア!!!!キイイイック!!!!!!」

次にオーズがオースキャナーで一気に再スキャンする！！

【スキャニングチャージ！！】

オーズは飛び上がり空中で散開してコンドルレッグが膝から下を展開し、猛禽類の脚のような巨大なクローへと変形するして必殺技のプロミネンスドロップを発動する！！

オーズ「はあああああ！！！！！！せいやあああああ！！！！！！！！！！」

最後にプリキュアチーム

ヒーリングチェストを取り出して

四人「出でよ、全ての音の源よ！」

クレッシェンドトーンを召喚し

四人「届けましょう、希望のシンフォニー！プリキュア！！スイートセッション・アンサンブル・クレッシェンド！！！！」

両腕をクロスしたままクレッシェンドトーンの金色の光の炎と一体化して飛行し突撃する！

そして全員の必殺技が次々にヒットしてアウノウン達が大爆発を起こして消滅する！！

四人「ファイナーレ！！」

全員着地してポーズを決める！！

オーズ「終わったね…ふう…！！」

ため息をするオーズ

アギト「じゃあ改めて話を…」

そう言っただけならミューズが…

ミューズ「待って！！何か来るわ！！」

ミューズがふと空を見上げて叫んだ瞬間だった。

その直後に空から突然光るスライム見たいな物…スファイアが現れて  
アウノウンの破片に取り付いた!!

アギト「な!! なんじゃあれ!!」

ビート「アレはなんなの!!」

オーズ「スライムかな!? え~~~~~!!!!!!」

スファイアが次々に集まって…グニユグニユ動いて巨大な怪物が作られていく…

そしてスファイア合成獣ゴルザが誕生したのだ!!

ゴルザ「グギヤアアアア!!!!!!!!」

ゴルザが吠え中心街に向けて歩き始める!!

オーズ「今度は怪獣ううう!!!!!!!!うそお!!!!!!」

またしてもビックリするオーズ

メロディ「なんで!!!!どうなってるの!!!!!!」

ビート「落ち着いてみんな!! 多分さっきのスライムみたいな物の  
せいよ!! きっとアレは怪人を取り込むと怪獣化する物なんだわ!  
!!」

アギト「それにまずいぜ!! アイツ町に行くつもりだ!! 皆は先に  
住民の避難を頼む!! 奴は俺が時間を稼いで止めておく!!」

メロディ「うん!! わかった!!」

リズム「お願いするわ!!」

ミューズ「任せて!!」

ビート「気おつけてね…それと無茶は駄目よ!!」

ビートが静かに愛しくアギトに言う。

アギト「ああ!! 任せておけ!! 俺なら大丈夫だから!!」

俺は仮面の下でニヤツて笑いそのまま変身解除して左腕を突き出す  
とウルティメイトブレスレット事ウルティメイトイージスが現れて

中心が光り前の戦いの後にエスプレnderが変化した変身アイテムのウルトラゼロアイを取り出す！！

オーズ「それは！？」

狼「まあ見てください！！行くぜ！！デユワ！！」

そう言つてウルトラゼロアイを着眼する！！

すると赤と青の光が出てきて彼の周りをグルグル回つて彼を急激に変化させる！！

そして姿が赤と青の戦士に変わつて巨大化し彼はウルトラマンゼロとなつてゴルザの前に着地して戦闘ポーズを決める！！

ゼロ「ジュワ！！」

ゴルザもコレを見て吠え一気に襲い掛かつて来た！！

ゴルザ「ぐぎゃああああ！！！！！！」

ゼロ「ぐ！！負けるか！！！！！！！！」

ゼロは必死にそのパワーに耐えて振り払いアッパーで吹き飛ばして押し倒す！！

ゴルザはジタバタして動けなかった…

ゼロ「どうだ！！！！」

オーズ「今度は巨人…！！」

コレを見たオーズは驚いてしまう！！

ビート「彼はウルトラマンゼロ！！私達の心強い味方なの」

笑顔で教えた後直ぐに真顔に戻つて

ビート「とにかく町のみんなを調べの館に！！あそこのオルガンなら！！」

メロディ「わかった！！」

リズム「行きましょう！！」

4人が走りだしたのを見てオーズも飛行して追いかける。

オーズ「ちよつと待つて！！俺も手伝うから！！」

オーズは飛行して追いかけている……

オーズ「なんかとんでもない町に来たちやっただな！！伊達さん達大丈夫かな？」

オーズはこんな事を言つて救助活動に向かった。

一方の町の屋根の上では伊達と後藤がこの様子を見ていて

伊達「なっ！！なんだあれ！！」

後藤「怪獣と巨人！？一体どうなつて！？」

伊達「とにかく行こうか！！後藤ちゃん！」

そう言つて以前の戦いで破壊されて廃棄処分する予定だったプロトバースを急遽改造して作られた新型のバースドライバー……伊達明専用バースドライバーを装着する！！

後藤「何が起こつてるんだ……」

後藤は通常のバースドライバーを装着し

伊達「まあ事情はよく分らんが……倒しますか！！行くぜ後藤ちゃん！！」

後藤「はい！！」

そう言つてセルメダルを指で弾いて掴み、後藤は腕輪からセルメダルを外す！！

2人「変身！！」

2人は同時にメダルを挿入口に放り入れてバツクル右側のハンドルレバーを回転させリアクターを守るカプセル状のランサーシールドが展開して、球体が2人を包み変身が完了する！！

2人の全身のバースは黒であり、ボディ各部の計10か所にリセプタクルオーブが配置されていて頭頂部には他より一回り大きいオーブがあり、その外周を沿うようにU字型の黒い複眼だった。

後藤のバースが目が赤く光り伊達の目は緑に発光した。

また彼専用バースは以前は赤だった部分は全て緑に変えられている



以外には見た目に変化は無かったが：

バースD「さて！！新型のコイツを使つて見るか！！」

そう言つてセルメダルを挿入して音がなるドライバーのレバーを回す！！

【フライトキャノン】

背中のおーブからカッターウイングでは無く新装備の空中戦に適したプレストキャノンの改良版とも言えるフライトキャノンが装備される！！

この装備は両肩にキャノン砲が付いており背中にはブースターが取り付けられているのだ！！

バースD「ついでにコイツも！！」

【フィストアーム】

続けて大型の拳が付いたアームが装備される。

このアームの見た目や機能はドリルアームと同じだが先端がドリルでは無くパワーフィストと言う新型のパンチユニットが装備されているのだ。

拳がガンガンと鳴り高速で回転し伊達は満足そうに

バースD「よっしゃ！！後藤ちゃん行くぜ！！」

バースG「はい！！」

【カッターウイング】

バースGもカッターウイングを装備してバースバスターを取り出し2人は飛び立ちゼロとゴルザに向かって飛び立つのであった。

一方のプリキュア達とオーズは人々の非難を終えゴルザと戦っているゼロの援護に向かう途中だった。

ビート「早く援護に向かわないと…アレ？」

突然五人の上をバース達を通りすぎて行つたのだ！！

オーズ「今のは伊達さんと後藤さんだ！」

気がついたオーズはクジャクウイングを広げて後を追いつながら呼びかける！！

オーズ「伊達さん！！後藤さん！！おーい！！」

2人が気がつき空中で静止する

バースD「お！！火野じゃん！！無事だったんだな！！」

バースG「今まで何所に！！ってそれはいいとにかくあの巨人と怪獣をやっつけに！！」

ここでオーズがアタフタして…

オーズ「2人とも待つてください！！誤解しています！！あの巨人はこの町を守っているヒーローでウルトラマンゼロって言う英雄なんです！！だから退治するのは怪獣だけにしてください！！」

2人は「えっ」となり

バースD「あの巨人がヒーロー？どう見ても悪そうな顔しているんだけどな…」

当然この会話は俺の耳に入っておりブチ切れてバースD振り向いて思いつき怒鳴りながらこちらにやって来て！！

ゼロ「ちよつとまてええええ！！！！！！誰が悪そうな顔してるって言うんだよ！！！！俺はウルトラマンゼロだ！！悪人なんかじゃねえ！！！！」

そう言われてバースDは軽く誤る！！

バースD「ワリイワリイ！！冗談だよ！！さてそろそろやばい事になっっているかもよ？」

ゼロ「は？てつめえ！！舐めやがって！！！！」

ビート「落ち着いてゼロ！！その人の言う通りだよ！！」

それを聞いたゼロはえつとなつてゴルザに振り返ると立ち上がった  
ゴルザが赤くなっていたのだ！！

メロディ「赤くなった！！」

ゼロ「ち！！話は後か！！行くぜ！！ジュワ！！！！」

瞬間移動でパンチを繰り出すが先ほどとは違い全く効いてなかった  
！！

ゼロ「馬鹿な！！俺のパンチが…ぐわああああ！！！！！！」

ゴルザがゼロを掴み放り投げて顔を地面に植えつけてしまう！！そ

のパワーは先ほどの時よりも強くなっていた。

ゼロ「くっそうっ！！抜けねえっ！！」

頭が完全に埋まってしまった為動けないゼロをスルーしてゴルザがまた動き出す

バースG「まずい！！」

素早くバースバスターを連射して攻撃をして足止めをしようと打ちまくるが、だが相手が大き過ぎる為、全く効果が無かった！！

バースG「く！！駄目か！！」

バースD「後藤ちゃん！！セルバースト行くぞ！！」

バースG「はい！！」

オーズ「俺も行きます！！」

後藤バースが頷きプレストキャノンを装備する。

【プレストキャノン！！】

それぞれメダルを二枚入れてレバーを回して必殺技を発動する。

【セルバースト！！】

オーズはタジャスピナーにベルトの鳥系メダルと収納していたサイ・ゴリラ・ゾウのメダルをセットしてふたを閉じ一気にオースキャナーでスキャンする

【タカ！クジャク！コンドル！サイ！ゴリラ！ゾウ！ギン！ギガスキャン！！】

エネルギーがそれぞれの武器に充填されてチャージが完了して

バースD「よっしゃ！！フライトキャノンチャージ完了！！いけっ

！！！！！！」

バースG「うおおおおおお！！！！！！！！」

オーズ「おおおお！！！！！！せいやああああああ！！！！！！！！」

同時にキャノンからビーム攻撃が放たれオーズの赤と銀に輝く炎の不死鳥型のエネルギー技のマグナブレイズを放つ！！！！しかしゴルザはそのエネルギーをなんと吸収してしまった！！

バースD「な!!」

バースG「エネルギーを吸収した!？」

オーズ「そんな!!」

3人は驚いて止まってしまいゴルザがハエ叩きみたいに彼らを叩く!!だが素早くフィストアームとドリルアームのパワーを最大にして何とか受け止める!!

【ドリルアーム】

【セルバースト】

オーズ「伊達さん!!後藤さん!!うわああ!!!!!!」

オーズは反対の手で地面に叩きつけられてしまった!!!!

2人「うおおおおお!!!!!!」

ドリルと拳が高速回転してゴルザの手の平を貫通する!!

バースD「やったぜ!!!!なっ!!!!」

だがすぐに再生してしまった。

バース「再生能力もあるのか!!!!」

コレを見たメロディは?

メロディ「よし!!!!こうなったら私も!!」

そう言つてミラクルベルティエを取り出すがリズムがアタフタと止める!!

リズム「待つて!!アイツにエネルギー系の技は駄目!!」

メロディ「え?なんで?」

キョトンとするメロディに呆れたビートが

ビート「あの怪獣はエネルギーを吸収する力を持っているのよ?またエネルギー与えたら余計にパワーアップしちゃうわ!!」

メロディは笑いながら…

メロディ「あはははは!!!!そうでした!!!!ってこのままだと町が…

あ!!!!ゼロ!!!!

とここで投げ飛ばされて頭から地面に埋まっていたゼロがやっと復活した!!!!

そしてゼロは首をボキボキ鳴らして歩きながらゴルザに怒鳴る！！！！  
ゼロ【やっと出られた！！おいそのオオトカゲ！！よくもやってくれやがったな！！覚悟しろよ！！】

ゼロはブレスを高く上げ赤いイメージを伝える…するとブレスが光る  
ゼロ「ハアゝ！！！！シュワ！！！！」

青の部分が全て赤くなり腕が太くなってより筋肉質になりたくましくなった！！そう彼はゼロタイプからパワーとスタミナに優れるタ  
イタンタイプにタイプチェンジしたのだ！！  
と同時にライフゲージが鳴る

【ピコ！ピコ！ピコ！ピコ！】

ゼロ【ちっ！！エネルギーが僅かか…上等だ！！！！】  
ゼロとゴルザがまた取っ組み合いをする！！  
ビート「ゼロ！！！！」

ゼロTが頷き腕にありったけのパワーを送りそのまま持ち上げる

ゼロ【まだあまだあゝ！さっきの用にはゝ！！！！】  
ゼロがその勢いで思いつき投げ捨てる！！

ゼロ【いかねゝぜ！！！！】  
ゴルザが山に激突してフラフラになる！！

ゼロ「シュワ！！！！」  
決めポーズをして今度は両手を炎で燃え上がらせる！！

ゼロ【コレでトドメだ！！】



戦った経験済み

オーズ「？まあいいや！！いくよ！！」

そう言つて一斉にオースキャナーで再スキャンする！

【スキャニングチャージ×50！！】

そして一斉に必殺技のガタキリバキックが50発分がゴルザに次々にヒットする！！

オーズ「せいやああああああああ×50」

ゴルザ「グギヤアアア！！！！」

ゴルザが怯み

そしてトドメにゼロタイタンの必殺技がゼロバーニングナックルが炸裂する！！

ゼロ「ハヤアアアア！！！！！！」

さすがのゴルザも受け止めきれずそのまま空中にぶっ飛んで大爆発を起こす！！

ゼロが元のゼロタイプに戻って

ゼロ「シュワ！！！！」

ゼロは飛び立ちそして数分後…俺たちは調べの館にいた

狼「さて？何所から話そうか？」

次回に続く！！





第2話！！ 赤きゼロと友情の赤いコンボと集団の緑のコンボ！！そして2人の

次回！！互いの事情と取り戻す紫のメダルと未来の少女！！

次回であの武器が復活します！！そして嶋先生オリジナルプリキュア降臨です！！

ちなみにバースのDとGの意味は

バースDが伊達

バースGが後藤です！！

そして新装備はまだまだ出てきます！！

お楽しみに！！

第3話！！ 互いの事情と取り戻す紫のメダル！！ そして未来の少女！！（前

前回までの出来事！！

1つ！！

突然現れたアギト達によって何とかアウノウンを撃退した！！

2つ

そして謎の生物スフィアによって怪獣化したが、ゼロとオーズの力で撃退する！！

そして3つ！！

彼らは調べの館で会話やお互いの正体を知るのだった！！

第3話！！ 互いの事情と取り戻す紫のメダル！！ そして未来の少女！！

先程の戦闘が終わってから数分後：

調べの館で俺たちは交互に自己紹介をする。

ちなみに学校はこの騒ぎがあつた為に緊急下校になったけどな！！

狼「まずは俺の自己紹介からですね。俺は犬上 狼 さっきの光の巨人ウルトラマンゼロと仮面ライダーアギトです。あ！！それとコレ名札です！！」

につこり笑いながら話して名詞を見せる俺

映司「うん！！よろしくね！！俺は火野映司！！旅人で仮面ライダーオーズとして戦っているんだ！！よろしく！！」

にこやかに話す映司

響「北条 響です！！私達はプリキュアと言う力で悪と戦っているの！！よろしくね？あ！！それと私ピンクのプリキュアでキュアメロディよ！！」

笑顔で言う響

奏「南野 奏です！！さっきはありがとうございました！！私は白いプリキュアのキュアリズムに変身していました」

微笑み穏やかに言う奏。

エレン「黒川エレンです！！好きな科目は！！！！」

とここで俺が苦笑しながら

狼「エレン違うつて！全くお前は！！」

エレンは顔が赤くなりながら

エレン「あつ！！御免なさい…つい…私は青のプリキュアのキュア  
ビートに変身していました…」  
ギリギリ聞こえる位の声で話す

伊達「ははは！まあ！元気が一番だしな！！気にするなよ？」  
励ます伊達

エレン「ありがとうございます えっと？」

伊達「俺か？俺は伊達 明だ！！そして仮面ライダーバース！！よ  
ろしくな！！」  
いつものように大雑把な説明で済ませる！！

アコ「あたしは調辺 アコ 黄色のプリキュアキュアミューズよ！  
！」

いつものそっけない感じで言うアコ

後藤「【こんな子供までプリキュアなのか…】俺は後藤慎太郎だ！  
！俺も伊達さんと同じバースに変身している…しかし君たちはいつ  
から戦っているんだ？」

真面目かつ険しい表情で聞いてくる

狼「去年から…だよな？響？」

響「うん！！最初は力を上手く力を使えなかったから下手だったけ  
ど…」

奏「今はバツチリよね」

五人はにっこり笑いながら言う

後藤「たった1年の経験か…凄いな…」

驚く後藤

そして俺たちはコレまでの戦いについて話してライダーやプリキュ  
アについて話し映司さん達は驚きながらもしっかり聞いて分かって  
もらった。

そして今度は俺が質問をする

狼「ところで映司さんたちはどうしてこの町に？観光って訳では無さそうだけど…」

映司さんは苦笑いして話す

映司「うん…俺たちはある男を追ってこの町にやって来たんだ…」  
続けて後藤さんが真面目な顔で

後藤「その男は未来の世界で作られたコアメダルとポセイドンドライバーを鴻上ファンデーションから盗みだして逃走している…」

エレン「コアメダル？」

アコ「未来の世界？」

俺たちは困惑してしまう

映司「コアメダルって言うのは800年以上前に当時の錬金術師達が人工の生命を作るため、地球に生息する様々な生物のパワーを凝縮して作った神秘のメダルの事なんだ…今は全て俺が持つてるけどね」

狼「すげー800年前も前に！？」

うなづく映司

後藤「今回盗まれたメダルとドライバーは今から四十年後の未来で作られた物であってとある事情で鴻上ファンデーションの研究の為に保管していたのだが…見事に盗まれてしまった…」

伊達「だから俺たちは鴻上会長から奪取して来いって命令された訳だ！まあ奴は未だに行方不明だけどな…」

エレン「なるほどね…」ところでコアメダルってどんな形なんですか？それにオーズって」

映司「ちよつと待っててね えーとあっしまった！！」

映司がポケットからホルダーを出すとパンツが一緒に出てきて床に落ちた！！

狼「?????なんでパンツが?」

映司は笑いながら拾い

映司「コレは明日のパンツさ!!死んだ祖父ちゃんが【男はいつ死ぬか分からない。パンツだけは一張羅を履いておけ】って言ってね...だから俺の持ち物はこのパンツと小銭と携帯とこのドライバーとホルダーだけなんだ」

そう言っでパンツをしまう

エレン「へっへええ!!」【そんな少ない持ち物で旅なんてできるんだ!!】それでメダルって?

映司「ああ!!これだよ!!」

そう言っでホルダーを開き鳥系【赤】・昆虫系【緑】・猫系【黄】・重量系【銀】・水棲系【青】爬虫類系【橙】

のメダルが並んでいてその空いているスペースには割れたタカコアとセルメダルを見せる

爬虫類系は鴻上ファンデーションが新たに支給してくれたのだ!!

全員見て

響「きれい!!」

奏「本当!!綺麗!!」

エレン「いっぱいあるんだ!!」

狼「あれ?なんかこのメダルだけ色や違う?それにこのコアメダル割れているな...」

映司「銀のメダルはセルメダルって言っでコアメダルほどのパワーはないけどツールやバースを使うのに必要なんだ!そしてその割れたメダルは...俺の友達の形見なんだ...」

狼「そっそうなんだ【この人も仲間失ったのか...】すみません!!嫌な事思い出させて...」

映司は少しキョトンしたが直ぐに笑い

映司「うん…でもあいつにはまた会えるから…大丈夫だよ!!」  
と言う

そしてオーズに付いてもつと話してくれた

オーズはコンボと亜種形態が存在して変身形態は計算上、頭5種類  
×腕5種類×脚5種類+4種類 129種類に及び、  
コアメダルの中で、特定の3枚つまり色が揃った組み合わせで変身  
できる形態を「コンボ」と呼ぶ。

コンボをなさないつまりバラバラで「亜種形態」以上の能力と専用  
の固有能力を発揮できるが、使用者の体力がかなり使づらい…も  
っとも映司さんは最適者としての資質を備えていた為暴走は無か  
つたらしい。

そしてタトバだけ体力消耗無しで使えるらしい

そして亜種形態ではコンボとは違いメダルを色々組み合わせる使  
形態である為疲労をしないと云う。

とここでアコが狼の袖を掴んで

アコ「ねえ?このメダル狼が持つてる奴と同じ物じゃない?」

それを聞いた映司は驚いた表情になり直ぐに見せて欲しいって云う

狼はポケットからティラノコアを取り出してみせる…

映司「これはどこで見つけたの!!」

さっきまでの穏やかな言い方とは違いビックリした声で言う

狼「前の戦いで敵が落とした剣の中に入ってたんですよ…知ってい  
るんですか?このコアメダル?」

映司は今までの戦いの事を全て話しこのコアメダルについても詳し  
く話してくれた…

元々このコアメダルにはグリードと呼ばれる怪人体が無かったが映  
司さんとドクター真木と呼ばれる人物に入り込みグリード化したら  
しい…そして最後の戦いの後それらのメダルはブラックホールに飲

まれた時に三つ残して綺麗に無くなったらいいのだ…後に映司さんは紫のコア以外を取り戻したと言う…

映司「とにかくこのコアは俺がもらっておくよ！！コレは危ないコアだから……」

狼はうなずきコアを渡す。

そして映司さんがさっきの敵について聞いてきた…だが俺は全く知らない敵だったので

狼「ごめん映司さん実は俺もさっき初めて戦った敵なんだ！！それにあの怪物は一体？」

とここで伊達さんの腹が思いつきり鳴った！！

【ぐうギョ  
ルルルルル  
！！！！！】

伊達「あつ！！やつべ！！そう言えばまだ昼飯喰つて無かつたな  
く話は後にして飯にしようぜ！！」

そこで音吉さんが何故か？おでんを作ってくれたので食べた後、映司さん達にこの後どうするかを聞いてみた

すると3人共泊まる場所が無いそうで…

音吉「なら2人はまでならここは泊まれば良い……じゃがそうになると……一人は……」

とこで映司が

映司「じゃあ俺野宿しますので……」

すると奏が

奏「あの家で良ければ部屋が一つ開いてますよ？」

結局映司さんが奏の家でお泊り件アルバイト？を

残りが調べの館で泊まる事になった。

次の日とある崩れた城



そこには ポセイドンのドライバーを盗んだ男 大海 おおうみ 広戸 ひろと が  
巨大スフィアから出てきた水のエルと話していた…広戸はチキンを  
食いながら

広戸「さっきのあの様なんだよ！！つまんねえな！！やつぱ俺が  
行つて…」

するとエルが

エル「心配するな…アレは始まりに過ぎん…次の手は打つてある…  
フフフ」

なにやら不気味に笑うエルだった。

同じ時刻 公園の木のすぐ下で小さな空間が出来て一人の少女が出  
てきた。この少女の髪は茶色のロングヘアーで服装は黒いジャケッ  
トで茶色の響と同じ柄が入った白いシャツに茶色のスカートで黒の  
ブーツだった。顔が何所と無く響に似ている。

彼女は岩橋地絵 いわはし ちえ と言い未来の世界でアクアと共にプリキュアとして  
モンスターと戦っているのだ。

地絵「ふう…なんとか付いたわ！！早く映司さん達と合流しないと  
！！」

そう言つて走ろうとした時！！

突然カラスみたいなアウノウン クロウアウノウンが現れて襲つて  
きた！！

地絵「ちよつと…！！いきなり…！！きゃ！！」

クロウ「殺す…」

いきなりだったので扱ける彼女だったが…ワナワナ震えて立ち上が  
り？

地絵「あつたま来た！！ここでやらなきゃ女がすたる！！見てなさ

い！！」

そう言ってキュアモジュールを取り出してオレンジのフェアリー  
ーンのグランドリーを装着し叫ぶ！！

地絵「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション！！」

オレンジのリボンが体に巻きつきキュアメロディによく似たオレン  
ジの衣装が出来て髪が一瞬で色が少し明るくなり髪型がメロディと  
同じツインテールになってよく似たブーツを履いて彼女の首と耳に  
首輪型のリボンとピアスが付いて降り立ち両手に光のシンバルを鳴  
らして踊りながら

グラウンド「爪弾くは大地の調べ！！キュアグラウンド！！」

そう言って大きな音を発して万歳をするようにポーズを決める！！

この頃俺はまたこの気配を感じみんなに伝えて直ぐに現場に行く  
そこには！！

キュアグラウンドがちょうど戦っていた所だった。

グラウンド「はあああああ！！！！！！」

彼女はもうラッシュでパンチとキックを繰り返してした…

狼「だれ？あの子？」

エレン「知らないわ…誰だろう？」

響「さあ？」

奏「今は助けてあげないと！！上を見て！！」

全員上を見ると同じタイプのアウノウン達が沢山いて彼女を狙って  
いるが見えた！！

映司「まずいよ！！アレだけの数は！！」

後藤「直ぐに救援に！！うん？」

突然サイレンが鳴り響きトレーラー三台が到着して止まる！！

狼「あつ！！あれは！！」

そのトレーラーには警察署 自衛隊 消防省のマークが入っていた。そしてハッチが開き中から 新型のモデルの青の仮面ライダーでG3の完成型のG3X 黒の仮面ライダーで自衛及び未確認生命体撃退用のG4 そして赤い仮面ライダーでレスキュー活動を主にするGRが出てきた。

GRの姿はG4と同型だが全身のアーマーが赤くスーツは白でベルトのメモリが青なっていて背中に放水用のノズルが付いていた。そして目が緑だった。

G3X「久しぶりだな！！みんな！！」

俺たちは驚き聞く

狼「氷川さん！！それってあのG3ですか？」

G3X「ああ！！それより君達も早く変身を！！説明は後だ！！」  
俺たちはうなずきすぐに変身する！！

狼が素早く腕を複雑に動かすと腰に光のベルト…オルタリングが出現し狼は右手をゆっくり前に突き出して…叫ぶ！！

狼「変身！！」

オルタリングの横のスイッチを押す！！

【ブウーン！！！！】

突風のような音がして狼の体が黒…アーマーが金と銀と黒…最後に赤い目と金の角を持つ姿に変わる！！

狼は仮面ライダーアギトに変身する！！

アギト「ハ！！」

そして響たちもキュアモジューレを取り出し

四人「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション」

メロディ「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

リズム「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

ビート「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

四人「届け、4人の組曲！スイートプリキュア！」  
ポーズを華麗に決める4人！！

映司はライオン　トラ　チーターをドライバーに装填して一気にスキャンする！！

映司「変身！！」

「ライオン！トラ！チーター！ガオ〜ン！ラタラタ〜　ラトラ〜タ  
〜」

オーズは猫系コンボの黄色のコンボのラトラーターに変身する！！

オーズ「は！！」

伊達「じゃあ！！俺たちも！！」

後藤「行きましょう！！」

2人「変身！！」

2人は同時にメダルを挿入口に放り入れてバックル右側のハンドルレバーを回転させリアクターを守るカプセル状のトランサーシールド

ドが展開して、球体が2人を包み変身が完了する！！  
バースD「しゃあ！！稼ぎますか！！」

軽く両手をパキパキ鳴らす伊達バース  
バースG「行きましょう！！」

この音によやくキュアグラントも気がつく！！

グラント「あゝ！！見つけた！！！！」

アギト「見つけた？どどういう事だ？」

次回に続く！！

第3話！！ 互いの事情と取り戻す紫のメダル！！ そして未来の少女！！（後

次回！！ 新型のGシリーズの力と復活する斧と少女の目的！！  
そして青のゼロとボイジャー1登場！！

では次回を！！

狼「次回でゼロの第二形態登場だ！！見逃すな！！」

#### 第4話 新型のGシリーズの力と復活する斧と少女の目的と正体！？ そしてと

前回までのあらすじ

一つ！！

狼達と映司達が会話して互いの状況を知る！！

二つ！！

映司は再び紫のコアを狼から入手した！！

そして三つ！！

公園に謎の少女のプリキュアとG3Xの氷川たちが現れたのだった

！！

第4話 新型のGシリーズの力と復活する斧と少女の目的と正体！？そして

グランド「うんー！わたし映司さん探そうとってー！！邪魔しないでー！」

クローが襲い掛かってきたのだ！！

G3X「行くぞ」

G3Xが完全版のGX-05 ケルベロスを素早く変形させて構えて打ちまくる！！

【カイジョシマス】

G3X「はあああああー！！！！！」

アギト「しゃあー！今日は青いフォームで行くかー！」

そう言つて左のスイッチを押して薙刀状の武器ストームハルバートを取り出して体と左側のアーマーが青に変わり水晶も青くなる！！アギトは風の力を宿したアギトの俊敏形態のストームフォームになったのだ！！

アギト「行くぜビートー！」

ビート「オツケー！！！」

ストームハルバートを振り回して左手で後ろに持ちビートと一緒にジャンプして複数のクローウを叩き落としてビートがで攻撃する！！ビート「ビートソニックー！」

そして俺たちはそのまま必殺技を使う！！

アギト「うおおおおおおー！！！！ハルバアアドスピーイイインー！！！！！」

空中でストームハルバードの刃を展開して超高速で回転して突風を起こし、すれ違いざまに斬り裂く。

アギト「はあああああー！！！！！！！」



ビート「弾き鳴らせ！！愛の魂！！ラブギターロッド！！おいでソリ！！！」

そして一回ギターを鳴らし

ビート「チェンジ！！ソウルロッド！！」

ビート「翔けめぐれ、トーンのリング！！」

ロッドを一周させてリングを作り！！

ビート「プリキュア・ハートフルビート！！ロック！！」

ビートがロッドのトリガーを引いてリングを発射して！！

ビート「三拍子！ 1・2・3！ファイナーレ！」

クロウ「があああ！！！！」

爆死して2人は仲良く着地して互いに手で仲良く互いに片手でハイタッチした！！

2人「よし！！」

【ゴリラー！！】

【トリケラー！！】

バースの2人はバースバスターをゴリラとトリケラのカンドロイドと言うロボットから伊達三さんの牛乳タンクからメダルの補充を受けながら打ちまくっていた。

G4はギガランチャーを打ちまくる

バースD「は！ほ！ほ！」

バース「はあ！はあ！はあ！！！！」

G4「ファイヤ！！！！！！」

全弾命中で目標は木端微塵だった。

メロディたち3人も的確に落としていく！！

メロディ&リズム&ミューズ「プリキュア！！ハーモニーショット  
！！」

GRは背中のおブションパーツのGRウォーターキャノンを外し変  
形させてをランチャーモードにして  
命令する

この武装は声で作動するのだ！！

GR「放水！！開始！！」

【放水シマス…】

凄い勢いで高圧水の弾丸が発射されクロウが次々に爆死していく！！

アギト「すごー！！」

ビート「なんか消防士さんみたい」

GR「つと言うか俺消防士なんですけど…それにこのユニットは基  
本はレスキュー用のシステムだから…」

アギト「マジで！！あ！！やべー！！」

クロウが襲って来たので素早くアギトとビートはかわしてアギトは  
右のスイッチを押して赤い刀のフレイムセイバーを取り出し今度  
は体と右側が赤くなる！！

それは炎の力を宿したアギトの剛力形態のフレイムフォームだった  
アギト「このやろう！！」

一刀両断でクロウを切り裂く！！

そしてオーズが止めてあったライドベンダーを変形させてマシンベ  
ンダーモードにしカンドロイドを購入する。

ビート「変形した！？しかも自動販売機？」

アギト「って今はジュースなんて買ってる場合じゃ…」

オーズ「ジュースじゃないよ？」

またライドベンダーをマシンバイクモードにしてトラカンのブルト  
ップを引っ張る。

【トラ〜!!】

メロディ「?それってさっき伊達さんも使っていた…」

オーズ「コレはカンドロイドって言うて鴻上ファンデーションが作った万能ロボットなんだ!!伊達さんが使っているのは俺とは違うけどね?」

と言うってトラカンを放す

するとライドベンダーが変形してトラカンが巨大化して合体し?トライドベンダーが完成する!!

【グオ〜ン!!!】

ミューズ「すっすごい!!」

リズム「これは?」

バース達以外の全員驚いている中オーズがトライドベンダーに乗りオーズ「コレがラトラーターコンボ専用のトライドベンダーさ」

オーズが教えてくれた話では

この形態のライドベンダーOSがトラみたいに暴れるらしく他のコンボでは制御不可だが同じ猫科のラトラーターならエネルギーを供給できるので使えるのだ。

オーズ「よし!!さっそく!!!こっこの感じもしかして!!」

目が一瞬紫になってオーズが驚く

そしてオーズはそのまま地面に手をつ込むと地面から斧状の武器メダガブリューが出てきた

オーズ「やっぱり!!メダルが戻ったから!!」

アギト達も驚き

アギト「なんか出た〜!!!」

啞然としてしまう

オーズ「さて……いつきにいくか……」

メダガブリューにセルメダルを四枚入れて飲み込ませる用に口に入れて閉じる。

【ゴツクン……！】

そして口を開けると？

【ゲッブ……！ラトラーター……！】

げっぶをしてカラオケバージョンの曲が流れる……！

ミューズ【武器がげっぶ？下品だわ……】

オーズはそのままトライドベンダーで空中に飛び回ってグランド・オブ・レイジとメダルのエネルギー弾でクロウ達を複数まとめて倒す……！

オーズ「は……！たあああ……！……」

この時一体が生き残り地面に落ちる……！

クロウ「ぐは……！」

オーズ「逃がさない……！」

飛び降りてメダガブリューを地面に置きスキャナーでオーカテドラルのメダルを一気にスキャンする……！

【スキャニングチャージ……！】

オーズ「ハッ……！」

スキャナーを戻して両腕のトラクローが展開して構えると全身を輝やかせつつ前方に出現した黄色い3つのオーリングを潜り抜けて口ツクオンしたクロウに向かって行く……！！

そして急接近し、トラクローでX字に切り裂く。

オーズ「はあああああ！！！！せいやあああああ！！！！！！！！！！」

命中して黄色い「〇〇〇」の文字が浮かび上がり大爆発した！！

そして最後にキュアグランド！！

グランド「この……！！人の邪魔して……！！こうなったら……！！」

グランドシンバルと言うシンバル型の武器を召還し両手に持つそれは全体が金で中心がオレンジのハートが付いていて右側の方にはフェアリートーンを入れる穴が開いていた。

グランド「鳴らせ！！大地のメロディ……！！ グランドシンバル！

……おいで……ドリー……！！」

未来からやってきたドリー事オレンジのグランドドリーが装着される！！

グランドドリー「ドド……！！」

当然現代組みのプリキュア達も驚く……！！

メロディ「え？ドリー？」

グランドはそのままグランドシンバルを叩いて音を出して踊りながら叫ぶ

グランド「駆け巡れ……！！トーンのリング……！！プリキュア……！！グランドオオオオ……！！！！スラアアアアム……！！！！！！」

シンバルを叩いて地面全体を大きな地震を起こして地面から巨大なトゲのような岩を出現させてクロウをその岩でロックし最後にオレンジのリングを三つ作りでクロウを拘束する……！！  
クロウ「がはああああ」

グランド「三拍子！ 1・2・3……！！ファイナレ……！！」

三回シンバルを叩いてメロディ同様に飛び上がり決める……！！  
そしてようやくクロウが全滅する。

グランド「ふうっ！！すつきりした！！」  
笑顔で言うグランドだったがアギトが叫ぶ

アギト「喜ぶのは早いぜ！！」

そう案の条スフィアが現れ破片や岩と融合して 見た目が若干前傾姿勢になっているのが特徴の怪獣のジオモスになった！！

ジオモス「ぐぎゃああああ！！！！！！！！」

グランド「ええええええ！！！！！！！！」

アギトはやれやれと首を振り

アギト「ったくしょうがねーな！！またこのパターンかよ！！」

そう言つて変身を解除しブレスを出してウルトラゼロアイをキャッチし着眼する

狼「デユワ！！」

光に包まれてジオモスと同じ大きさのゼロに変身する！！

ゼロ「デユワ！！」

戦闘ポーズを決めるゼロ！！

そしてゼロスラッガーを外して格闘戦で戦う！！

ゼロ「デヤ！！ジュワ！！」

激しい激闘をしてジオモスを押し切りゼロスラッガーを元に戻す。

G4「アレがゼロか！！」

GR「なら我々もアレ使いますか！！」

G3X「よし！！」

彼はスマートに連絡し言う

G3X「ボイジャーマシン！！発進お願いします！！」

成二「わかった！！ボイジャーマシン！！緊急発進だ！！」

スイッチを押すとスタジアムが割れて地下からボイジャーマシンの一台で宇宙飛行士型のボイジャー1出てくる！！

このマシンはとある世界で入手した設計図を使って造り上げ昨日完

成したのだ！！

だが他のマシンはまだ最終調整が済んでない為来なかった。

そしてマシンが現場に到着してG3X達が乗り込み操縦をする。

オーズ「今度はロボットだー！！」

メロディ「あれって！！あの設計図のロボット？」

リズム「だよね？」

ビート「アレ他のマシンは？」

G3Xが操縦席から答える。

中とはある世界の人物？が作った物と全く同じで最新式のモニターやコントロールパネルが並んでいる。

G3X「俺たちは正規のパイロットじゃないから知らないんだ！！  
だけど今はコイツで十分だ！！」

そう言っただけじゃーミサイルを発射してジオモスにダメージを与える！！

ジオモス「ぐがああああ！！！！！！」

ゼロ「やるな！！よし今回はコイツで行くぜ！！」

そう言っただけじゃー高き上げ青いイメージを伝える！！するとゼロの赤の部分が全て青くなり腕を振り下ろすとゼロはスピードと超能力に優れるスバロータイプにチェンジする！！

ゼロ「行くぜ！デューワ！！」

凄いいスピードで動きまわりキックやパンチを叩き込みそして？

ゼロ「これで終わりだ！！」

ゼロは両手を前に突き出してエネルギーを貯めて…水の力を光弾に変化させた必殺技のハイドロゼロスプラッシュを放つがジオモスは

体を高速回転させて地面に逃げてしまった！！光弾は海で爆発して消える！！

ゼロ【逃げたか！！くそ！！】

そして全員変身を解除し自己紹介してもらった。ボイジャー1はその戦闘後帰還して行ってもういない。

まずは氷川さんたちが

氷川「俺は氷川良だ！！よろしく！！」

次にG4がマスクを外し名乗る

黒本「黒本準だ！！陸上自衛隊特別隊員でG4の装着者だ！！よろしく！！」

指でシュってする…

最後にGR

火囊「火囊炎です！！消防隊特別隊員でGRの装着者です！！」  
敬礼をして挨拶を済まし

氷川「さて悪いけどすぐ行かなきゃ」

響「えっ！！もう？」

響が驚いて聞く

黒本「周りの被害修復作業があるからね…」

炎「我々の仕事はここからだから…仕方ないことさ！！じゃあ！！」

そう言って3人はトレーラーに乗って行ってしまった。

狼「新しいGシステムか…すげえな…」

エレン「そうね」

地絵「あゝ皆さん私は…」

情けない言い方で言う地絵に全員振り向き揃った声で

全員「君は誰？」

ようやく聞かれたので地絵はニッコリ笑いながら元気に答える



地絵「岩橋地絵！！14歳で皆さんの助っ人に来ました！！そして私は仮面ライダーアキアのパートナーです！！」

映司は仰天して食い付く！！

映司「え!!じゃあ君ミハルくんと知り合いなの!!」

地絵はちよつと首を傾けて苦笑し

地絵「うん…ミハルは私の幼馴染んだけど…」

映司「!!!!!!そうなんだ!!!!!!驚いたな!!!!!!」

ビックリして苦笑する映司

そして響が質問する！！

響「そう言えばあなたなんかあたしに似てるわね？　なんで？」

突然の質問を受けても地絵はニッコリ笑いながら答えた！！！！

地絵「だって！！私あなたの孫娘なんだもん」

響&奏「ふ〜んあたしの【響の】孫かあああ…え〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

~~~~~

!!!

## 衝撃の事実で全員またびつくりする

狼「マジかよ~~~~~!!!!!!」

エレン「でもどうして未来の響のお孫さんがここに!？」

地絵が答える

地絵「そ・れ・は ポセイダンのメダル回収の為に来たのよ」

て皆驚き過ぎない？」

あまりにのんきに話す彼女を見て俺はなんだが頭が痛くなってきた。

こんな助っ人で大丈夫なのかと思って……

続く！！



#### 第4話 新型のGシリーズの力と復活する斧と少女の目的と正体！？そしてと

今回は前話と同時進行だったから早く出来たな〜！！

次回いよいよメガボイジャーとポセイドン登場です〜！！  
では次回にお会いしましょう！！

第5話！！ 銀河合体！！ メガボイジャーとポセイドンとジオモスの大暴れ！！

前回までのあらすじ！！

一つ！！

謎の少女は圧倒的な強さでアウノウンを撃破する！！

2つ！！

その後巨大な敵ジオモスが出現しゼロとボイジャー1と言うロボットが迎え打つが逃がしてしまう！！

そして三つ！！

謎の少女のプリキュアの正体はなんと響の孫娘だった！！

## 第5話！！ 銀河合体！！ メガボイジャーとポセイドンとジオモスの大暴れ？

先ほどの戦闘が終わってから数時間後 地下ではジオモスの体にヒビが入り中から…

？「ぎゃああああああ」

何かが誕生していた。

翌日スマートの地下の司令室「久しぶりの！！」

地絵がもつと未来の話をしてくれた。

今未来ではモンスターだけでは無くスフィアやアウノウンとの激しい戦いがあつて未来の技術で作られたコアメダルを使った新兵器があるらしい…だがそれを使う為にはポセイドンのメダルが必要なんだって

映司「未来のコアメダルなら俺も持つてるけど…」

スーパータカ スーパートラ スーパーバッタ を取り出して地絵に見せるが彼女が首を振って

地絵「そのメダルはオース用に作られたメダルだから使えないのだから映司さんが持つてください。」

映司はうなずきメダルをまたポケットにしまう。

後で話してくれたけどこの未来のメダルはミハルと言う青年からもらつたらしい…

狼「もしかして君アウノウンやスフィアに付いても知っているのか？」

俺が聞いてみると彼女はうなずく

エレン「詳しく話してくれる？」

地絵「わかつたわ！ アウノウンって言うのはスフィアが手下とし

後藤「なるほど……だから襲ってきたのか」  
アコ「じゃあアギトの力を恐れた理由は？」  
地絵「うーん私もそれは少ししか知らないけど……多分アギトの力は彼らを弱体化させる力があるんじゃないかな？」  
あまりに雑な答えに俺はこけた。

映司「シンフォニー? って」

響「「私達の世界の初代のプリキュアで私達にアドバイスやメッセー

映司「へえ、凄いな。！！ってええええええ！！！！！！！」

伊達「なんじゃコレ!!」

話を戻そう。

69

俺は事情を彼女に伝える

すると彼女は笑顔のまま首を振って答える

シンフォニー「アウノウンやスフィアが光を恐れる理由は分かりません…ですが…」

ノア「奴らは人類が力を持つ事に恐れを感じているのかもしれない…」

そう言い残して消える！

狼「つまり未知なる敵って事か…」

突然サイレンが鳴り響きわたる！！

【ブーン！！ブーン！】

映司「なっ！！なんだ！！」

響「もしかして…敵が現れたの？」

成二「当たりだ！！映像を出すぞ！！」

それは昨日のジオモスだったが…姿がまるで違った！！

狼「コイツ！！姿が違う！！」

その姿は完全な直立姿勢となり、胸には亜空間バリアー生成器官という発光体があって昨日の印象とはまるで違った。

そうジオモスは脱皮してネオジオモスに成長したのだ！！

映司「まさか！！進化？」

エレン「みたいですな…」

アコ「とにかく！！止めないと！！」

とここで後藤がネオジオモスの左肩に人影が写っているのに気がつく！！

後藤「ちよつと待ってくれ！！左肩をアップして欲しい！！」

そう言われたのでスタッフが素早くアップする。

伊達「後藤ちゃん？どうした？」

後藤「人影らしき物が…あ！！」

それは大海 広戸ひろとだった！！しかもチキンを食いながらなんだかいライラしているようだ！！

狼「この人なんで怪獣の肩に…」

狼たちは驚き戸惑う

後藤「コイツは大海<sup>おおつみ</sup> 広戸<sup>ひろと</sup> かつて鴻上ファンデーシヨンの職員だったが…今は戦いを求める犯罪者でコイツがポセイドンを盗んだ男なんだ!!」

それを聞いた俺とプリキュアメンバーが驚く

狼「まじかよ!!! ってアイツ町に下りたぞ!!!」

エレン「いつたい…」

大海<sup>おおつみ</sup> 広戸<sup>ひろと</sup>は降り立つとチキンの骨を投げ捨ててポセイドンドライバーを装着しサメ・クジラ・オオカミウオをセットして叫ぶ!!

広戸「変身!!!」

【サメ! クジラ! オオカミウオ!!! ポセイドン!!!】

不気味な歌と共に変身してディーペストハーブーンを取り出してまた叫ぶ!!

ポセイドン「出て来い仮面ライダー!!! プリキュア!!! 俺様と戦え!!!」

どうやら我慢し切れなくて出てきたらしい

別の場所で水のエルが水晶で様子を見ていた。

エル「まったく…勝手な事を…」

再びスマート

狼「とにかく!!! 分担して行こう!!! 俺と響たちは怪獣を!!! 映司さん達と地絵はポセイドンを止めてくれ!!!」

地絵「任せて!!!」

響「でも私達の方じゃ…アレを倒すには…」

狼がにやって笑い

狼「ボイジャーマシンがあるぜ?」



そう言ってから数分後

俺たちは一斉に変身する

狼「じゃあ！！久しぶりに使うか！！」

そう言ってファイズドライバーを装着してフォンに555とコードを入力する！！

【Statting・by】

と音声がなり狼はファイズフォンを閉じてを斜めに構え叫ぶ！

狼「変身！」

【Complete】

と音声が出てファイズフォンをセットしたドライバーから赤いライン、フォトンブラッドが発生して狼の体にラインを作り赤く輝き！一瞬で赤いラインが入ったメカニカルなスーツを着た戦士 仮面ライダーファイズに変わる！！

見た目に変化は無いが性能が大きくアップしまたアクセルフォームも使用限界時間が60秒にまで延びたのだ！！

映司「え〜！！アギト以外の仮面ライダー？」

驚く映司さんたちにアコが

アコ「今は変身が先！！早く！！」

そう言って五人はプリキュアに変身する。

五人「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション！！」

そして5人が名乗り上げる！！

メロディ「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

リズム「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

ビート「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

グランド「爪弾くは大地の調べ！！キュアグランド！！」

五人「届け、5人の組曲！スイートプリキュア！」

ポーズを華麗に決める5人！！

メロディ「ってなんでグランドも？」

グランド「いいじゃん！！ね？おばあちゃん？」

笑顔で言うグランドだったが？

メロディ「わたしまだ14才なんですけど…」

メロディは物凄く落ち込んで、真っ白に！！！！

そんな事は放っておいて映司と伊達コンビも変身する！！

3人「変身！！」

【シャチ！ウナギ！タコ！シャ！シャ！シャウタ！シャ！シャ！シャウタ！】

映司は青いメダルの水系のコンボ シャウタコンボに変身する！！

オーズ「は！！」

バースD「行こうぜ！！」

オーズとバースそしてグランドがライドベンダーに乗って現場に向かい

残った五人がボイジャーマシンに乗る。

乗った順番はこうだ

ファイズ ロボイジャー1

メロディ シャトルボイジャー2

ビート     ロケットボージャー 3  
ミューズ     ソーサーボージャー 4  
リズム     タンクボージャー 5

するとファイズ以外のメンバーが光に包まれて女性用メガスーツを装着した。

中に入るとパイロットスーツ代わりに自動装着されるのだ

メロディはメガピンク

リズムはメガホワイト

ビートはメガブルー

ミューズはメガイエローだった。

メロディ「え？衣装が変わった？」

ビート「なんで？」

ファイズ「その姿のままで乗るとかなり危ないからさ！！…じゃあ発進するぞ！！」

昨日と同じ用にスタジアムが開いてマシンが発進して現場に飛ぶ！！

そして俺の乗るボージャー1がボージャー3の上に乗って現場に向かう。

ビートは初めから聞かされていたから文句は言わなかったが残りには伝えてなかった為？

メロディ「あゝ！！ずるい！！」

だが俺が

ファイズ「ボージャー1は他のマシンより遅いの！！だからこの方が早く着けるぜ？」

ビート「急ぎましょう？」

そして現場に到着すると既にオーズたちは交戦していて     ネオジオモスが暴れている！！

ファイズ「よし！！合体だ！！」

俺はパネルに合体起動プログラムのパスワードを打ち込む

ビート「いくわよー！！」

全員声をそろえて叫ぶ！！

五人「銀河合体！！」

全マシンが大気圏外に出て合体を開始する！！

まずはボイジャー3と分離してパーツに別れ　ボイジャー5の脚立とビーム砲が回転して引込み　ボイジャー2の後ろが分離し赤と青の頭部が出てきて　ボイジャー4の翼が収納され真ん中が変形して両腕と身体の一部になりボイジャー3の一部が真ん中に合体し次に今度はボイジャー5の上に分離したボイジャー3の残りが合体して分離しそして頭部が合体したボイジャー4の上に合体する

最後にボイジャー1が脚部に変形して一気に合体しイナズマが走りメガボイジャーが起動する！！

全員「完成！！メガボイジャー！！」

全高：70mのメガボイジャーが着地しオースはたまげてしまう！！

オース「またロボット？」

バースD「すげーな！！」

メガボイジャーが、まっすぐ歩き出し飛んでパンチを放つ

ファイズ「喰らえボイジャーパンチ！！」

見事なパンチが決まりネオジオモスが怯む！！

そしてまたジャンプして？

ビート「いけー！！ボイジャーキック」

今度はキックが炸裂する！！

ネオジオモスは蹴り飛ばされて倒れたが？怒りで素早く立ち上がりメガボイジャーに光線を放つ！！だが！！メガボイジャーには全く

効いてない！！

ネオジオモスは啞然としてしまう！！

ファイズ「さすがネオパラレル超合金の装甲だ！！ドラえもんマジすげーぜ！！」

この装甲のデータもあのメモリに含まれていて度々ドラえもんが向こうの世界から材料を送ってくれたのだ！！

ネオジオモスはまた怒り出して今度は火炎弾を放つ！！

メロディ「残念　ボイジャーシールド！！」

ボイジャー2の本体が変形したシールドが火炎弾を弾き返す！！

一方のポセイドンは四人相手がキツイ為苦戦していた

そして四人の必殺技が炸裂する！！

オーズ「コレで決める！！」

【スキヤニングチャージ！！】

バースD&バース「うおおおお！！！！！！」

【セルバースト！！】

グランド「鳴らせ！！大地のメロディ！！　グランドシンバル！

！！　おいで！！ドリー！！」

グランドはそのままグランドシンバルを叩いて音を出して踊りながら叫ぶ

グランド「駆け巡れ！！トーンのリング！！プリキュア！！グラン  
ドオオオオ！！！！スラアアアム！！！！！！」

シンバルを叩いて地面全体を大きな地震を起こして地面から巨大なトゲのような岩を出現させてクロウをその岩でロックし最後にオレ

ンジのリングを三つ作りでポセイドンを拘束する！！

グランド「三拍子！ 1・2・3！…フィナーレ！」

だがポセイドンは脱出した！！

グランド「そんな！！」

だがここでライダーの技が！！

オーズは標的をドリル状に変化し水を纏ったタコレッグでドリルキツクの要領で貫くオクトバニッシュと言う技で

攻撃し二人のバースのブレストキャノンとフライトキャノンのセルバーストが炸裂する！！

オーズ「せいやああああ！！！！！！！！」

だがポセイドンはデープスパウダーを使ってかわす！！！！

【スキヤニングチャージ！！】

そして相打ちになってポセイドンは？

ポセイドン「ち！！ここまでか！！は！！」

水の衝撃波放ち逃げてしまった！！

オーズ「まずい！！！！」

素早く真ん中のコアをカメに変えて変身する

【シャチ！カメ！タコ！】

オーズは亜種形態のシャカタでカメアームで防ぐ！！

そしてポセイドンは逃げてしまった！！

バースD「逃げたか！！」

グランド「あゝもう！！！！コアメダルが！！」

悔しがるメンバーだった。

一方のファイズはコントロールレバーを複雑に動かしメガボイジャーは巨大ミサイル【ロケットボイジャー3の機首】を発射するボイジャースパルタンを放つ体制に入る。

全員「ボイジャー スパルタン！！」

ミサイルが放たれてネオジオモスに当たると思ったが・・・

ネオジオモスはバリアを張って何と耐えてしまう！！そしてミサイルはバリアと押し合っていた。

ミューズ「そんな！！」

ファイズは変身を解除してブレスを呼び出し

狼「ったく！！しょうがねーな！！行くぜ！！ジュワ！！」

ゼロアイを着眼してメガボイジャーの隣に降り立つ！！

そして？

ゼロ「コイツは効くぜ？デヤアアア！！！！」

ゼロスラッガーをライフゲージに合体させて光刃のエネルギーを光線技に変換したゼロタイプ最強光線のゼロツインシュートを放つ！！

ゼロ「デヤアアアアアアアア！！！！！！！！！！」

ネオジオモス「ゴアアアアアア！！！！！！！！」

青い光線がバリアを打ち砕きボイジャー スパルタンが命中しネオジオモスは空中に飛ばされて大爆発を起こして消滅した。

結局何とか俺たちは勝ったがポセイDONは逃がしてしまった...まあ次は逃がさないけどな！！！！

続く

第5話！！ 銀河合体！！ メガボイジャーとポセイドンとジオモスの大暴れ？

今回はスペシャルコラボストーリーです！！

？「やつと出番か！！」

？「遂にきた〜！！」

？「うるさいわよ！！」

？「まあまあ！！」

？「喧嘩するな…」

？「ここが狼くんの世界なんだね〜！！」

狼「おゝみんな久しぶりだな〜！！」

そしてライダーGX先生！！メガボイジャーもドラえもんのオリジナル合金のネオパラル超合金の装甲で作りました！！

理由はそっちのドラえもんが度々送ってくれたお陰です！！  
設計したのはドラえもんですしね？



スペシャル回！！ 狼とエレンの初デートと健一達との再会？（前書き）

いよいよスペシャルコラボ回！話目です全部で2話構成で行きます  
！！ではどうぞ！！

## スペシャル回！！ 狼とエレンの初デートと健一達との再会？

ここは異次元空間：丁度健一達が操縦する青い宇宙船メガシップがオルゲータの戦艦を追いかけていた。

その戦艦にはトリケラオルゲータが乗っていて健一達は必死にメガシップで追いかけていたのだが：

カブト「く！！全然追いつかない！！」

操縦席で必死に操縦している少年は佐藤健一で高校3年生の少年で武術とバイクの達人であり武術とバイク以外に銃の名手でもある。現在はスピリットライダーズのリーダーであり仮面ライダーカブトである。

ファム「ちょこまかと！！もうまたビーム外れた！！」

打ってる少女は 伊藤 綾香で学歴トップでいつも1位を取っている天才であり、料理の腕も凄腕である

朝は早い方で、毎日健一を起こしに行っている。

アーチェリーの天才であり弓道の助っ人もしている程で今は仮面ライダーファムになっている！！

カイザ「なんだよアイツ！！マジム力つくな！！」

この少年は滝島 一真でいつもバカな事と女の子にしか頭になくて困っている。

でも戦闘の時はかなり真面目。

テコンドーの達人でもあるがいつも健一には負けている

だが槍の腕もかなりの物でもある

空気君で仮面ライダーカイザだ

一真「誰が空気くんだ！！」

ゴホン！！失礼！！

イクサ「？あいつ誰に向かって…ぐ！！」

この少年は真柴 龍と言い冷静な判断力と発想でいつもみんなをまとめている

ムエタイの達人で薙刀の腕はプロ級でかなりの物。

今は仮面ライダーイクサになっている！！

さっきはメガシップがダメージを受けて揺れた為だった。

バース「く！！砲台大破！！後エンジン出力低下！！墜落するぞ！！」

最後の少年は大塚 誠二でいつも優しく誰からも頼りにされていてメカニックの天才でいろんなガジェットツールを開発している。

中国拳法の使い手で斧を使う戦士でもあり今は仮面ライダーバースである。

ドラえもん「外で修理できる場所に行こう！！このままだとみんな死んじゃうよ！！」

このように話すのはご存知のドラえもんである。

カブトはうなずき

カブト「仕方ない！！一回外の世界に出よう！！うん？」

向こうもエンジントラブルが発生して同じ方角に向かって行くのがカブトには見えた

ファム「ラッキ〜ね！！向こうも不時着する見たいね？」

敵戦艦内

トリケラ「何やってる！！早く逃げる！！」

船員「館長！！もう駄目です！！不時着します！！」

こうして二台の船は空間を次々に抜けて見覚えのある空間の手前まで来た。

カブト「あれは…加音町？うつわあああああ！！！！！！」  
二台の船は別々の場所に飛ばされる！！

その頃の狼たちは？

狼とエレンは初デート中だった。

エレンは青いアクアコーデュロイベレーをかぶっていてそれによく似合う可愛い服でおめかしていた。

【コーデイナーは彼女のプリキュア仲間の来海えりがやりました！！！！】

狼は黒革ジャンに青いシャツそして黒いジーンズに黒茶色のブーツだった。

ちなみに響はピアノの稽古！！奏とアコと映司さんはケーキ作りのお手伝い　そしてバス組みは町でポセイダンの搜索だ。

俺たちはウィドウシヨッピンングやコンサートを見たりした。

まずは店内でネックレスを見る。それはエレン好みの青いサファイヤがハート型で中心に入っていた。

エレン「可愛いっ！！これ欲しいわっ！！」

目がキラキラする。

狼「ホントだなじゃあ買ってやるよ？」

エレン「えっでもかなり高いよコレ？」

心配そうに言うエレンだが狼は？

狼「心配するなよ？俺の給料は隊長クラスで月に？？？万だからさ！！！」

エレン【すっ凄い！！リッチだわ…】

次にコンサート

2人はクラシック音楽系の音楽のコンサートに来て？

エレンはさっきのネックレスをしてうっとりした顔で聴いており俺も心地よい音楽で気分は最高だった。

それから数時間後

今は俺がおこったクレープを仲良く座って公園で食べていた所だった。

エレン「おいしい！！」

元氣よく食べるエレンは笑顔で溢れていた！！

狼もニッコリ笑い

狼「だな！！今日は天気も良いし最高の日だよ！！」

2人は食べ終わってそのままにこやかに空を見上げた！！っとその時！！

突然空間がねじれ故障したメガシップが出てくる！！

狼は驚いて立ち上がる！！

狼「アレは…メガシップ！！！！何でこの世界に！！」

エレンが両手で口に持って行って驚きながら

エレン「大変だわ！！アレ故障してる！！助けなきゃ！！」

俺は素早くブレスを出してウルトラゼロアイを取り出し掴み

狼「エレン！！行くぞ！！」

エレンはうなずきキュアモジュールを出す！！

狼「デユワ！！」

エレン「レッツプレイ！！プリキュア！！モチュレーション！！」

2人は変身しゼロが手の平にビートを乗せてメガシップに近寄る。中ではカブト達が必死に操作していた。

ドラえもん「エンジン90%低下!!もう駄目だ!!」  
だがその時メガシップが揺れたと思ったなら急に安定した!!

カブト「なっなんだ!!うん?キュアビート!？」

窓の外ではビートが手を振っている。

イクサ「一体…あ!!皆!!コレを見てくれ!!」

着陸用カメラの映像が下のから送られてくる。そこにはウルトラマンゼロが写っていた!!!そう先ほど到着しメガシップを持ち上げて助けてくれたのだ!!

カブト「まさか…狼か？」

カブトが聞くとゼロが答える

ゼロ【思った通りだな!!よう!!健一くん!!】

こうして俺たちは意外な再会をしたのだった。

それから数分後

俺たちは仲間を集めてスマートの地下に集まっていた。

メガシップはメガボイジャーの格納庫で現在ドラえもんこここのスタッフが修理を開始している。

健一達は軽く自己紹介を済ませて色々聞いて来た

健一「ここはお前の世界って訳か…しかも…響たちまでいるのか？」

龍「って当たり前だろ?ここは別世界なんだぞ？」

一真「うんじゃ早速!!ここの響たちと…いててててててて!!

!!!!!!」

綾香が一真のほっぺをつねったのだ!!

綾香「アホ抜かすな!!!あたしたちは遊びに着たんじゃない!!」

怒られる一真

一真「すみません…」

響「【この人達が狼くんが言っていた】…別世界にいる健一くんなのね？」

映司「面白い子たちですね？」

伊達「ああ!!」

後藤は黙ったままだった。

誠二「本物のバースにオーズまで来ているなんて…最高だ!!」  
と思っっていた。

そして映司は健一と握手して挨拶を済ませる。

そして龍がアコに気がつく

龍「うん？君って確か…え」と

アコはムツとして

アコ「調辺 アコよ!!キュアミューズ!!」

スピリットライダーズ「え~~~~~!!!!!!」

全員驚く!!

一真「じゃあそっちの女の子は？」

地絵はニツコリ笑い？

地絵「岩橋地絵!!!14歳で北条響の孫です!!」

ライダー「なに~~~~!!」

事情を聞いてまた驚く

そして彼らの話を続けて聞いていく俺たち

健一達は先ほどの敵について話す…

奴らは戦艦で戦うトリケラオルゲータ隊と言い異次元世界を支配する為  
に今回派遣されてきて健一達はその野望を阻止する為追加メン  
バーやプリキュア達を留守番にして追いかけてきたのだ。

ちなみに全員来なかったのは全員来ると本来の世界が守れなくなる  
そうだから…

健一「しかし…コレからどうしようか？奴らが何所で行動するか分

からないし…」

綾香「「そうよね〜??? そう言えば何であんた達おしゃれしてるの?」

そう言われて二人は少し赤くなり? もじもじする…

狼「えつと〜その〜!」

エレン「私たち…え〜と」

綾香はにやって笑い指摘した。

綾香「はっは〜ん!!! さては!!! 2人ともさてはデート中だった訳ね〜!!」

その場にいた全員がビックリし2人は赤いトマトのように真っ赤になる!!!

龍「凶星みたいだなってオイ!!」

2人は恥ずかしさのあまり気絶してしまった!!

結局その日は何も起こらなかった…俺たちの珍事件を覗いて…  
で健一くんたちはメガシップの寝泊りした。

で次の日の朝…

スマートの地下室がサイレンを鳴らし全員集まる!!

狼「ったく朝っぱらかご苦労さんだな…で敵は?」 齒磨きしながら?

成二「ああ…それが今回はアウノウンじゃない…とにかく見てくれ…」

ちなみ先日は紹介していなかったが兄貴は自分から挨拶をしている為全員知っていた。

健一「あ…」

それは昨日逃がしたトリケラオルゲータだった!!!! しかも戦闘員も



【オルゲッタ！！オルゲッタ！！オルゲッタ！！オルゲッタ！！】

誠二「間違いない！！あいつらだ！！」

狼「至急退治だな！！」

そう言ってから数分後　俺たちは格納庫に行きマシンを出す

健一達はメガシップからそれぞれのバイクで　狼はアギトルネーダーと言う新型の専用バイクに乗る

一真「っってお前まだ免許無いだろう？なんでバイクなんて…」  
後ろに乗ったエレンが

エレン「狼くんはこの隊長だから特別運転許可証つまり特別免許  
持ってるの！！」

健一「マジで…凄いなお前？」

驚くメンバーに対しヘルメットをかぶりながら狼は

狼「まあね？さあ行こうぜ？」

響たちは新型のメカデジタンクに乗って

響「さゝて！！行こうか？」

このデジタンクは狼の父巧が設計した物で子どもから大人まで乗れるスーパーマシンなのだ！！

ドラえもん「凄いマシンですね！！コレあなたが？」

巧「ああ…いつも響ちゃんには世話になってるからね…そのささやかなお礼かな！！…さあ行きなさい！！」

映司「行こう！！」

こうして移動して現場の中央公園

俺たちは降り立ち

一真「オイ！！そのサイ野郎！！」

狼「違うだろ？ゾウだろ？」

見事なボケに龍が突っ込む

龍「いやいや！！正しくはトリケラトプスだ！！」

トリケラは物凄く怒った！！

トリケラ「貴様らか！！行け！！お前たち！！」

戦闘員「オルゲッタ！！オルゲッタ！！オルゲッタ！！オルゲッタ！！」

狼「まったくしょうがねえ！！行くぜ！！」

狼が素早く腕を複雑に動かすと腰に光のベルト…オルタリングが出現し狼は右手をゆっくり前に突き出して…叫ぶ！！

狼「変身！！」

オルタリングの横のスイッチを押す！！

【ブウーン！！！！】

突風のような音がして狼は仮面ライダーアギトに変身した！！

そして響たちもキュアモジューレを取り出し

五人「レッツプレイ！プリキュア・モジューレション！！」

そして5人が名乗り上げる！！

メロディ「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

リズム「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

ビート「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

グランド「爪弾くは大地の調べ！！キュアグランド！！」

五人「届け、5人の組曲！スイートプリキュア！」  
ポーズを華麗に決める5人！！

映司「さてと！！」

伊達「行きますか！！」

後藤「行くぞ！！」

映司はいつものタトバのメダルをバツクルに！！

2人はドライバーにセルメダルを投げ入れて叫ぶ！！

3人「変身！！」

【タカ・トラ・バツタ！タ・ト・バ！タトバ！タ・ト・バ】

【カポン！！】

それぞれオーズとバースに変身する

健一「行くぞみんな！！」

全員「おう！！」

誠二「本家バースやオーズ共闘だなんて！！！！楽しみだな！！！！」

それぞれのアイテムを召還し身に付けて叫ぶ！！

全「変身！！」

そして全員名乗り上げる！！

「太陽の超戦士！！！！仮面ライダーカブト！！！！」

「麗しの女戦士！！！！仮面ライダーファム！！！！」

「黄光機の戦士！！！！仮面ライダーカイザ！！！！」

「白騎士の戦士！！！！仮面ライダーイクサ！！！！」

「銀色のメダルの戦士！！！！仮面ライダーバース！！！！」

『『『参上！！！スピリットライダーズ！！！！！！』』』

ドツカアアアアアン！！！！！！！！！！

カブト達の決め言葉が見事に決まり後ろが何故か爆破する…  
もちろんこの世界ではメンバー全員慣れて無い為ビックリする！！

アギト「へ？なにやっての？」

ビート「変わった名乗りね？」

カブトは少し照れて

カブト「ああいつものお約束のパターンだ！！な？」

カブトはカメラ目線で ライダーGX先生に言う！！

アギト「まあいいや！！あそうだ！！俺のスピリットエナジー見せてやろうか？」

フナム「え！！アンタのスピリット？」

アギトはうなずき叫ぶ！！

アギト「行くぜ？はあああああ！！！！！！！！！！」

二つの光がオルタリングから溢れてストームハルバートとフレイムセイバーを取り出して左が青！右が赤のトリニティフォームに変わる！！

そう彼のスピリットはフォームチェンジの融合の力だったのだ！！  
バース「凄い！！それってトリニティフォームだよね？」

アギト「ああなんかあの時はまだ覚醒し切れてなかったんだけど…  
昨日寝る前にトレーニングしていたら偶然出来たんだ！！さて！！  
行くか！！」

カブト「ああ！！」

続く!!

次回は!!!!

カブト「ぐわあああ!!!!!!馬鹿な!!!!メガサーベルが効かない?」

ドラえもん「ああもう!!!!あのデータの設計図何所いったんだ?ギヤラクシーメガのパワーアップマシンの設計図はアレがあれば…」

アギト「!!!!大丈夫さ!!!!こっちには切り札がある!!!!兄貴!!!!」

カイザ【成二】「待たせたな!!」

カブト「よし!!!!超電磁合体!!!!」

次回!!!!最強ロボ!!!!スーパーギヤラクシーメガとウイングメガボイジャー!!!!

スペシャル回！！ 狼とエレンの初デートと健一達との再会？（後書き）

次回はライダーGX先生は出さないって言っていたあのメカが登場します！！もちろん無理に使ってくださいと言いません！！そして無茶苦茶な事書いてすみません！！

ですがギヤラメガのパートナー！！デルタメカは外せなかったのです！！

のでどうか使ってください！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9265z/>

---

ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 響け!三

2012年1月8日23時45分発行